来年はついに50周年！

ピーポー新聞

発行日
2019年 8月
発行者
倉敷市立
中島小学校
3年
柚木香穂

水島臨海鉄道のはじまり

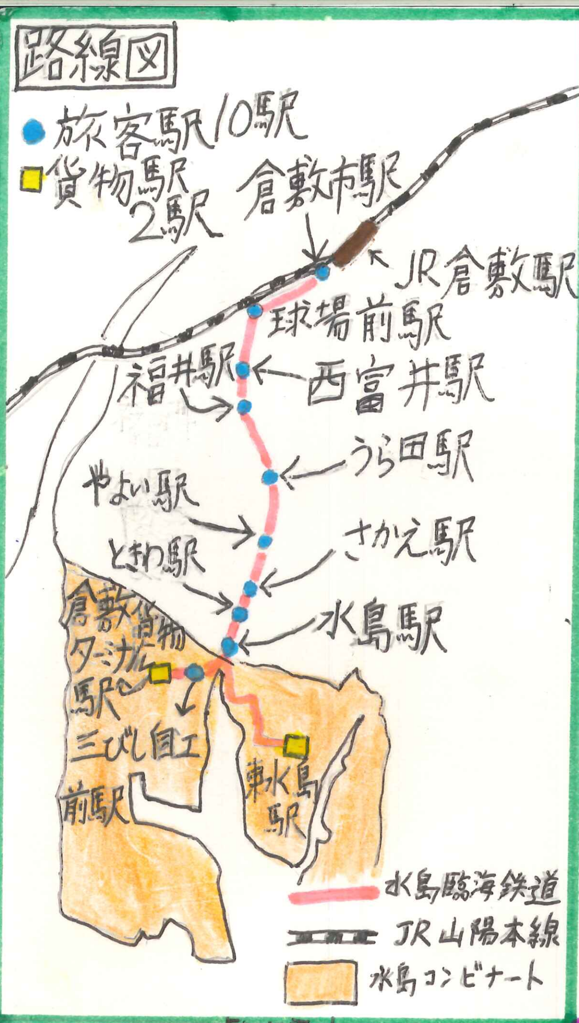
太平洋せんそう中の昭和18(1943)年に旧三びし重工株式会社水島航空きせい作所の専用鉄道として開通したのがはじまりです。それまでは、農ぎょう中心だったため鉄道のひつ要性は高くありませんでした。

しかし、工場ができることによって工ぎょうせい品や部品などの運ぱんとその工場ではたらく人たちのいどうに鉄道がやく立つようになりました。

その後、昭和45(1970)年にげんざいの「水島臨海鉄道株式会社」ができて、来年令和2(2020)年には開ぎょう50周年になります。

※ピーポーとは、水島臨海鉄道のあいしょうで開ぎょう当時のじょう気きかん車の発車気笛音に由来。

路線図

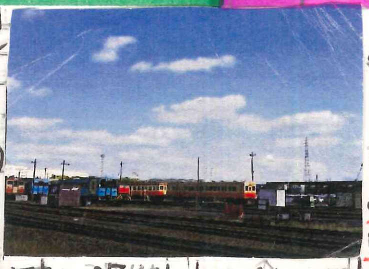


貨物と旅客があるのは全国で2社のみ！

日本では、10の臨海鉄道路線がえいぎょうしています。そのうち一般じょう客がのることができるのは、水島臨海鉄道と鹿島臨海鉄道の2社です。

「DE701」オリジナル車両（写真は水臨HPよりばっすい）

「キハ37 101」2019年5月さつえい
※「キハ37」は水臨にしかないきちょうな車両



2019年5月倉敷貨物ターミナルにてさつえい。

← 水臨には、めずらしい車両がたくさんあります。

水臨のしょく員さんへインタビュー

（西島さん）（たけ田さん）

Q 水臨の貨物とJRの貨物は、同じ役目ですか。

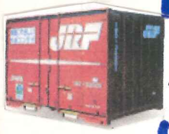
A ほぼ同じ役目であるが、ゆそうひんもくの内ようがことなる。自動車や水島工ぎょう地たいで生さんされる合成じゅし・ゴム・金ぞくせい品が大半を占めています。水臨の貨物れっ車は、岡山貨物ターミナル駅までに物をはこんでいます。水臨の区間は、非電化区間のためJR貨物を走行している「電気きかん車桃太郎」とくらべると、パワーはおちるが一日3おうふくを2人のじょうむ員で運行している。に物は、岡山貨物ターミナル駅でつみかえられて全国の貨物ターミナルまで運ばれている。

Q 一年間でおきゃくさんをどれくらいはこび、一番いそがしい時は、いつですか。

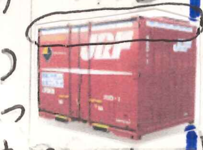
A 一年間、約160万人を運び、7月の倉敷天りょう夏祭りが一番いそがしいです。

コンテナのしゅるい

19D

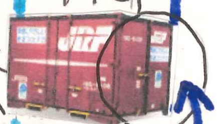


20D

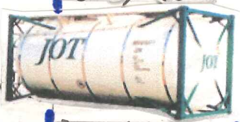


20Dは19Dより、高さが高く、横面に白線がついているのがとくちょう。

19G

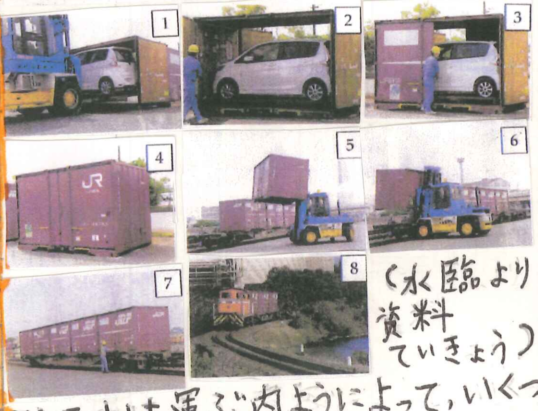


19Gは19Dと大きさは同じだが、側面が片方だけひらき、L字のようにひらく。



主に化学工ぎょうせい品をはこぶ

自動車積込の様子（倉敷貨物ターミナル）



（水臨より資料ていきょう）

コンテナは運ぶ内ようによって、いくつかしゅるいがある。上の図のコンテナは、「19D」という、両がわ二方開きの、12フィートコンテナである。5,000kgまで、にもつをのせることができる。

へん集後記

この新聞をつくることによって水臨がちいきの人々の大事な交通しゅだんであること、また貨物ゆそうは線路がつづくかぎりどこまでも早く安全にたくさんのにもつを届ける大切な役目を果たしていることが分かりました。コンテナに自動車一台が入っていることには、びっくりしました。今では、コンテナを見ると「中には何が入っているのかな」とワクワクするようになりました。

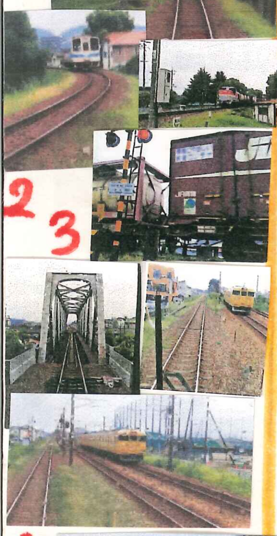
西島さん、たけ田さん、おいそがしい中、ありがとうございました。

わたしがおすすめするさつえいスポット

1位 球場前駅近くのカーブがある水江ふみ切り
2位 西富井駅から福井駅にある高架ばし
3位 倉敷市駅を出てすぐのJR山陽本線との並走区間
4位 中島並木町遊園
※花見をしたり、公園であそびながら水臨をまてるので、わたしも弟も大好きです。

1

2 3



4